くらし　健康

病院の実力　106

「慢性頭痛」3種類に大別

それぞれ異なる治療法

慢性頭痛とは、副鼻腔や髄膜炎など他の病気はないのに、頭痛の発作を繰り返す病気だ。大きく分けて3種類ある。

「片頭痛」は、ズキズキと脈打つ痛みが4～72時間続く。吐き気を伴うことが多く、体を動かすと悪化する。日本では800万人以上の患者がいるとされ、女性に多い。医師が処方するトリプタンという飲み薬が有効だ。

「緊張型頭痛」は、締め付けられるような痛みが頻繁に起こる。一般的に片頭痛より痛みは軽く、体を動かしても悪化しない。鎮痛薬が使われる。

「群発頭痛」は、1年のうち数週間から数カ月間だけ、毎日短時間、片側の目の奥などが激しく痛む。酸素の吸入やトリプタンの自己注射薬に効果がある。

ただ、鎮痛薬や片頭痛治療薬を飲み過ぎると、かえって頭痛の頻度が高くなる場合がある。これを「薬物乱用頭痛」と呼ぶ。原因となった薬をやめる必要があり、入院して治療することもある。

このように、慢性頭痛には様々な種類があり、治療法も異なるため、痛みがつらい場合は、日本頭痛学会の認定専門医がいる医療機関を受診するのが望ましい。

読売新聞は、全国の専門医973人にアンケートを実施、320件の回答を得た。この中には、同じ病院にいる複数の専門医のデータを合算した回答も含まれる。

一覧表には、専門医が2010年に診療を行った医療機関を掲載。①新規の頭痛患者のうち薬物乱用頭痛の割合（10年実績）②重症患者を入院させた経験の有無③初診時の平均診察時間――を載せた。同一の病院で診療する複数の専門医が個別に回答した場合は、最も高い数値を掲載した。

紙面の都合で、掲載したのは165施設。表の3項目に、他の5項目を加えた計8項目の回答を点数化し（表右下の注記）、6点以上の施設（該当施設がない県は最も点数が高い施設）を掲載した。

なお、専門医の氏名は、日本頭痛学会のホームページで見ることができる。（山口博弥）

主な医療機関の慢性頭痛治療実績

①新規患者のうち薬物乱用頭痛の割合（％）（2010年実績）
②重症患者を入院させた経験の有無（○＝自施設、△＝他施設に紹介、×＝なし）
③初診時の平均診察時間（分）

	①	②	③
北海道			
旭川赤十字（神）	9	○	30
北見ク	35	△	30
さっぽろ神経内科ク	20	×	60
市立札幌（神）	10	○	30
中村記念（神）	※	○	20
中村記念南（神）	※	○	30
青森			
えびな脳神経ク	5	×	20
岩手			
岩手医大（神）	1	○	30
くろだ脳神経・頭痛ク	5	×	25
なおや脳神経・頭痛ク	20	△	30
松園中央ク	10	×	20
宮城			
広南（急性期脳神経外科）	11	○	20
仙台東脳神経外科	6	○	10～30
秋田			
秋田メモリアルク	10	△	20
市立横手（脳神経外科）	6	○	20～30
山形			
山形市立済生館	5	○	30
福島			
太田熱海（神）	11	○	30
国・いわき（神）	12	○	30
茨城			
筑波学園（小児科）	※	○	30
筑波大（神）	40	○	30
東京医大茨城（神）	10	○	30
水戸協同（脳）	20	○	30
栃木			
足利赤十字（神）	2	○	20
獨協医大（神）	80	○	30
群馬			
篠塚（脳）	5	○	40
前橋ペインク	40	×	20
みやきだ内科医院	4	△	20
埼玉			
いしもと脳神経外科・内科	3	△	約15
おおやまク	15～20	×	20～30
神谷医院	10	△	約15
川口市立（脳）	8	○	15
済生会川口総合（脳）	2	○	10～15
埼玉医大総合（神）	1	○	20～30
埼玉精神神経セ（神）	60	○	25
深谷赤十字（脳）	1	○	15
防衛医大（脳）	1	○	15
千葉			
亀田メディカルセ（神）	1	○	30
千葉中央メディカルセ（脳）	10	○	15～20
東京女子医大八千代（神）	※	○	20
日本医大千葉北総（脳）	※	×	15
日本大松戸歯学部（[illegible]）	―	○△	20～30
日本大松戸歯学部（脳）	3	○	40
谷津保健（脳）	17	○	20
東京			
河北総合（神）	約10	○	30
北里研究所（総合内科）	5～10	○	20～30
慶応大（神）	15	○	15～20
厚生中央（脳）	1	○	20
済生会中央（神）	10	○	20
山王ク	17	△	10
[illegible]メディカルセンター・セントラルク	40	△	3
日赤（脳）	10	○	15
日本医大（神）	14	○	10～15
日本医大（脳）	22	○	20
にわファミリーク	31	△	80
福内ペインク	8	△	30
[illegible]総合（脳）	※	○	20
みたか中央脳神経外科ク	3	△	20～25
三越厚生事業団[illegible]診療所	7	△	20
吉井ク	12	△	15～30
神奈川			
いとう[illegible]ク	3	△	30～40
神奈川歯科大横浜ク	14	△	32
川崎市立川崎（神）	約10	○	約30
北里大（神）	17	○△	25
済生会横浜市東部（神）	34	×	20
相模原協同（脳）	2	○	20～30
聖マリアンナ医大（神）	10	○	30
茅ヶ崎徳洲会総合（神）	4	○	20～30
東海大（神）	3	○	30
平塚市民（脳）	3	○	15～20
藤沢内科ク	4	△	15
間中（脳）	4	○	20
新潟			
立川綜合（脳）	5	○	約30
新潟市民（神）	15	○	20
富山			
さくら内科・神経内科ク	5	×	30
富山大（脳）	5	○	15
石川			
木島脳神経外科内科ク	1	×	15～20
福井			
福井済生会（脳）	8	○	30
山梨			
くわざわク	2	△	20
ながせき頭痛ク	5	△	15
長野			
一之瀬脳神経外科（脳）	※	○	20
小林脳神経外科（脳）	2	○	40
昭和伊南総合（脳）	30	○	20
広岡脳神経外科	5～10	×	20～30
岐阜			
村上記念（脳）	1	○	15
静岡			
静岡赤十字（神）	5	○	30
沼津大山ク	17	△	45
愛知			
安城更生（脳）	40	×	20
大同（脳）	約25	○	15
クリニックひらまつ	8	△	20
公立陶生（神）	10	○	30
野々村ク	10	△	15
三重			
南[illegible]内科	3	△	20
おぎわら脳神経外科ク	3	△	20
鈴鹿回生（脳）	※	○	20～30
ヨナハ総合（脳）	10	○	20～40
滋賀			
野洲（脳）	15	○	12～13
京都			
綾部（神）	10	○	20
京都市立（神）	10	○	20
立岡神経内科	25	△	30
大阪			
大阪大（漢方医学）	50	○	30～60
近畿大（神）	17	○	10～30
城山（神）	20	×	30
たかせク	2	△	30
たかせ内科医院	―	△	30
富永（神）	20	○	30
東大阪市立総合（神）	10	○	30
やすだク	10	△	12
山本第三（神）	10	○	15
友愛会（脳）	7	×	25
兵庫			
いわくら脳神経外科頭痛ク	6	△	15～20
[illegible]リハビリテーション（脳）	10	○	20
甲南（神）	8	○	60
順心（脳）	※	○	15～20
西宮市立中央（脳）	5	○	30
姫路中央（脳）	13	○	20
兵庫医大（総合診療科）	3	○	15
奈良			
県立奈良（神）	7	○	25
やました医院	1	△	30
和歌山			
県立医大	10	×	30
鳥取			
山陰労災（神）	20	○	30
鳥取赤十字（神）	10	○	20
鳥取大（神）	※	○	60
島根			
玉造厚生年金（脳）	3	×	15
岡山			
笠岡第一（脳）	2	○	20～30
川崎医大（神）	10	○	20
倉敷中央（神）	6	○	20～30
脳神経外科・内科頭痛ク	2	△	20
広島			
呉共済（脳）	2	○	30
県立広島（神）	10	○	15～20
国・呉（神）	10	○	15
小畠（神）	9	○	25
JA吉田総合（脳）	5	○	30～60
広島赤十字・原爆（脳）	10	○	10～20
広島大（脳）	6	○	30
山口			
宇部興産中央（神）	20	○	30
かく脳神経外科ク	2	△	20
徳山医師会（神）	17	×	20
ねごろ神経内科ク	15	△	30
徳島			
田岡東（内）	3	×	40～60
香川			
香川井下（神）	6	○	20
愛媛			
済生会松山（脳）	16	○	20
村上記念（脳）	4	○	15
高知			
梅ノ辻ク	8	×	15
福岡			
池田脳神経外科	8	△	30
[illegible]門司（麻）	10	○	約60
北九州市立医療セ（麻）	2	○	60
産業医大（神）	3	○	30
宮城脳神経外科ク	15	△	30
佐賀			
おそえがわ脳神経内科	―	×	15～20
長崎			
日赤長崎原爆（神）	30	○	約30
熊本			
熊本市民（神）	7	○	15
熊本赤十字（脳）	3	○	20
[illegible]頭痛ク	約15	△	約15～20
田島医院	50	△	30
まつばせ[illegible]ク	6	△	10～15
大分			
[illegible]ク	5	△	20
宮崎			
潤和会記念（神）	7	○	20～30
鹿児島			
厚地脳神経外科（脳）	―	○	20～30
大勝（神）	50	×	20
鹿児島市立（脳）	2	○	40～50
さくら通りク	8	△	30
田中脳神経外科ク	2	△	20
田村脳神経外科ク	10	×	20
南風（脳）	13	○	15
沖縄			
県立南部・こども（神）	20	○	30
嶺井第一（脳）	5	○	10～15

【下記の8項目をそれぞれ1点とし、合計6点以上の医療機関を五十音順に掲載】

1　薬物乱用頭痛の割合が10％以上
2　過去に重症患者を入院させたことがある
3　初診患者の診察時間が15分以上
4　トリプタンの自己注射薬を処方した
5　片頭痛に対して薬物療法以外の治療法（はり・きゅう、体操指導など）も行った
6　小児の片頭痛患者を診療したことがある
7　施設にMRI（磁気共鳴画像）がある
8　頭痛ダイアリーへの記録を指導した

※1、2、4は重症患者に対応できる目安。3、7、8は正確な診断を行う要素。頭痛ダイアリーは、頭痛が起きた時間や痛みの種類、その時の行動、服薬状況などを詳細に記録する日記。8項目の詳細は今月下旬、ヨミドクター「病院の実力」で掲載する。

「ク」はクリニック、「セ」はセンター、「国・」は独立行政法人国立病院機構。病院の場合、回答した専門医が所属する診療科名も記した。（神）は神経内科、（脳）は脳神経外科、（麻）は麻酔科・ペインクリニック科。「―」は不明または無回答。薬物乱用頭痛の割合で、※は1％未満。